

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	4 J R松山駅等周辺における安心で快適なまちづくり												
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	愛媛県、松山市、伊予市、松前町										
計画の目標	総合交通戦略として、連続立体交差事業、区画整理事業及び街路事業を実施により、J R松山駅等周辺の市街地分断・渋滞箇所の解消、周辺道路の混雑緩和、豊かな公共空間を備えた良好な街区の形成と快適な都市生活の実現、市街地での延焼火災の防止、救急・消防活動の円滑化、車両基地・貨物駅移転に伴うまちづくりの促進を図るとともに、あわせて関連する公共施設等の整備や周辺環境整備等を実施し、安心で快適なまちづくりを推進する。												
計画の成果目標(定量的指標)	① J R松山駅等周辺事業における公共空間(事業用地確保面積)の確保率を1.2%から77.0%に向上させる。												
定量的指標の定義及び算定式			<table border="1"> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>1.2%</td> <td>46.4%</td> <td>77.0%</td> </tr> </table>		定量的指標の現況値及び目標値			当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	1.2%	46.4%	77.0%
定量的指標の現況値及び目標値													
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)											
1.2%	46.4%	77.0%											
公共空間の確保については、対象事業のうち、S街路及び道路においては用地買収面積、区画整理事業においては用地確保面積(※1)により算定する。 事業用地確保面積率(%)=【目標設定年度における事業用地確保面積】÷【計画事業用地面積】 (※1) 区画整理事業における用地確保面積は、仮換地指定面積(従前地)及び先行買収面積とする。													
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,212百万円	A	6,514百万円	B	C	698百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	9.7%				

事後評価

○事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成26年度
社会資本の重点整備方針等検討会	公表の方法
	県ホームページ

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
	街路	一般	愛媛県	直接		S街路	改築	JR予讃線連続立体交差(松山駅付近)	連続立体交差 L=2.4km	松山市						3,401	
	街路	一般	愛媛県	直接		S街路	改築	(都)松山駅北高架側道西線	高架側道 L=0.8km	松山市						10	
	街路	一般	愛媛県	直接		S街路	改築	(都)松山駅南高架側道西線	高架側道 L=0.7km	松山市						10	
4-A1-2	道路	一般	愛媛県	直接		県道	改築	(一)低部伊予松山線(アクセス道路)	バイパス L=1.6km	伊予市、松前町						1,052	
4-A1-3	街路	一般	松山市	直接		区画	改築	松山駅周辺地区(都)三番町線 外	区画整理 A=16.7ha	松山市						1,784	
4-A1-8	道路	一般	伊予市	直接		市道	改築	(他)川福上郷線	L=0.13km	伊予市						6	
4-A1-9	道路	一般	伊予市	直接		市道	改築	(他)川福上郷線(上野団地東橋梁)	現道拡幅 L=0.01km	伊予市						7	
4-A1-10	道路	一般	伊予市	直接		市道	改築	(2)大谷川線	現道拡幅 L=0.1km	伊予市						12	
4-A1-11	道路	一般	伊予市	直接		市道	改築	(他)堤大谷川2号線	現道拡幅 L=0.32km	伊予市						59	
4-A1-12	道路	一般	伊予市	直接		市道	改築	(他)平松小学校線	現道拡幅 L=0.6km	伊予市						61	
4-A1-17	道路	一般	松前町	直接		町道	改築	(他)東170号線	歩道整備・路切改良 L=0.2km	松前町						109	
4-A1-18	道路	一般	松前町	直接		町道	改築	(他)東44号線	現道拡幅 L=0.12km	松前町						3	
4-A1-19	道路	一般	松前町	直接		町道	改築	(他)東176号線	自由通路 L=0.11km	松前町						0	
小計(道路事業)											6,514						
A2 港湾事業																0	
小計(港湾事業)																0	
合計																6,514	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
4-C1-1	施設整備	一般	愛媛県	直接	その他		施設外周通路整備(北側)	1.0km	伊予市、松前町						166		
4-C1-2	施設整備	一般	愛媛県	直接	その他		施設外周通路整備(南側)	1.3km	伊予市、松前町						455		
4-C1-4	施設整備	一般	松前町	直接	その他		排水施設等整備	排水路 L=0.1km	松前町						57		
4-C1-5	施設整備	一般	松前町	直接	その他		排水施設等整備	排水路 L=0.23km	松前町						20		
合計																698	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
4-C1-1	連立事業に関連して行う新車両基地・貨物駅の整備に併せ、施設外周通路(北側)を整備することによって、この地域(伊予市、松前町)の活性化を図り、まちづくりを推進する。										
4-C1-2	連立事業に関連して行う新車両基地・貨物駅の整備に併せ、施設外周通路(南側)を整備することによって、この地域(伊予市、松前町)の活性化を図り、まちづくりを推進する。										
4-C1-4	(一)低部伊予松山線の整備により分断された水路の流末処理を実施することにより、円滑な排水機能を確保する。										
4-C1-5	(一)低部伊予松山線の整備により分断された水路の流末処理を実施することにより、円滑な排水機能を確保する。										

その他関連する事業

計画の名称															
鉄道高架化によるJ R松山駅等周辺の渋滞箇所・市街地分断の解消(計画期間 平成26年度 ~ 平成29年度)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
11-A-1-1	街路	一般	愛媛県	直接		JR予讃線連続立体交差(松山駅付近)	連続立体交差 L=2.4km	松山市						18,216	
11-A-1-2	街路	一般	愛媛県	直接		(都)松山駅北高架側道西線	高架側道 L=0.8km	松山市						1,411	
11-A-1-3	街路	一般	愛媛県	直接		(都)松山駅南高架側道西線	高架側道 L=0.7km	松山市						1,471	

計画の名称															
速い交通(徒歩・自転車)利用促進による、環境にやさしい健康まちづくり(計画期間 H24~H28)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
6-A1-13	街路	一般	松山市	直接	松山市	松山駅周辺地区(都)三番町線 外	地中化・区画整理 A=16.7ha	松山市						1,978	
6-A1-14	街路	一般	松山市	直接	松山市	(都)松山駅北東西線	地中化・バイパス L=0.05km	松山市						100	
6-A1-15	街路	一般	松山市	直接	松山市	松山駅周辺地区(都)松山駅北東西線	地中化・区画整理 A=16.7ha	松山市						100	
6-A1-16	街路	一般	松山市	直接	松山市	(都)本町宝塔寺線	現道拡幅・自転車道L=0.5km	松山市						640	

計画の名称															
【駅の上のまちづくり】~市街地加型集約都市形成と観光客、市民の快適な生活環境の向上のための基礎整備~(計画期間 H22~H26)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-34	街路	一般	松山市	直接	松山市	松山駅周辺地区(都)千舟空港線 外	区画整理 A=16.7ha	松山市						16	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況										
・新車両基地貨物駅建設の工事用道路として使用する(一)低部伊予松山線(アクセス道路)や施設外周通路の事業用地確保は予定通り進捗し、車両基地貨物駅建設工事の円滑な執行に寄与した。 ・区画整理事業の事業用地確保面積のうち、現車両基地を除く先行取得分の買収は概ね完了し、予定通りの進捗で仮換地指定を行い、今後、本格的に区画整理事業に着手することが可能となった。										
II 定量的指標の達成状況										
指標①事業用地確保面積率(%)		最終目標値	77.0%	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業内の現車両基地の用地取得について、新車両基地の移転先で当初想定していなかった埋蔵文化財が出土し、発掘調査に不測の日数を要したため用地を取得できなかった。					
		最終実績値	51.4%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)										
連続立体交差事業は、高架切替まで、その主たる事業効果が十分に発揮できないが、高架化以外の関連整備は順調に進捗していることから、交差する道路の路切の除去、道路幅員の拡幅、越水等の原因となった水路改修、アクセス道路整備等が進み、整備箇所周辺環境が向上したことにより、安心かつ安全性が向上した。										

3. 特記事項(今後の方針等)

本整備計画の中心となる連続立体交差事業、区画整理事業等が別整備計画へ移行し、また、現事業の多くが2年以内に整備完了となることから、継続事業においては、他の整備計画に移行することにより引き続き各事業の進捗を図り安心で快適なまちづくりを推進することとする。(移行先整備計画 「(仮)県民の暮らしを支え、地域の活性化と交流連携を促進するまちづくり」「(仮)ひとにやさしく、みんなが安全に移動できるまちづくり」)



